

広報

こだま

2019

Vol.33

【栗田病院 広報誌】

新年のご挨拶

理事長 栗田 裕文・院長 安部 秀三

創立51周年記念事業

フォーカス くりた人

作業療法士 高野歩

栗田ダイアリー

行事・イベント紹介



有朋会・理念 ～私達の求める姿～

私たちの使命は、患者様、利用者様、ご家族様、地域連携機関、地域住民、有朋会職員といったあらゆる方々の「こころ」に、温かな（ホットな）灯りをともすこと、笑顔を増やし続けることです。その使命を果たすことで、以下3つの姿を実現します。

1. 医療・介護・福祉を統合した高品質のサービスを設計・開発し提供し続けている。
2. スタッフみなが有朋会の一員であることに胸を張っており、患者様、利用者様、ご家族様に質の高いサービスを提供している。
3. 働きたい・学びたいと希望する方が絶えることなく集まってくる。



医療法人社団 有朋会

栗田病院

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505

TEL: 029-298-0175 Mail: yuhokai@yuhokai-kuritah.com

<http://www.yuhokai-kuritah.com/>

理事長・院長より新年のご挨拶

理事長よりご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。今年も皆様へ新年のご挨拶が出来ますこと、とても嬉しく思います。

医療法人社団 有朋会にとって、昨年は様々な方々の出会いや、学びを得る機会に恵まれ、とても実り多い1年でした。これもひとえに、患者様・利用者様やご家族様、連携をいただいております諸機関をはじめとした地域の皆様、そして有朋会スタッフの皆さん等々、大勢の方々を支えていただいている、応援をいただいているお陰だと実感しております。この場をお借りして改めて御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

表紙に有朋会の理念が書いてございますが、有朋会は、患者様・利用者様、ご家族様等々、たくさんの方々の「こころ」に、温かな（ホットな）灯りをとますこと、笑顔を増やし続けることを使命としております。今年もその使命を全うしていく所存です。もし、そうでないことがございましたら、どうぞ遠慮なくご指摘・お叱り下さいますよう、お願い申し上げます。10年後のビジョン「こころの未来を創造する」を目指し、2019年も引き続きYSTP（有朋会中長期



院長よりご挨拶

経営計画を着々と進めて参ります。理念やビジョンを目指す歩みの中、全く平坦な道のはないように、これからの様々なことが（嬉しいことが沢山、そうでないものも、もしかすると）あるでしょう。そして、確かなことは、どんな場合や状況でも（例えば年号が変わろうとも）、有朋会が目指すその先や使命には何ら変わりはないということです。使命・求める姿をしっかりと心に留め置いて歩みを続けて、様々な経験を通して学び、成長し、「こころ」の未来を創造して参ります。今年も皆様と手を携えながら、共に歩んでいきます。ご指導、御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。どうか皆様にとっても、素晴らしい1年でありますように。

今年もよろしくお願い申し上げます。
（理事長 栗田 裕文）

新年明けましておめでとうございます。新たな年を迎え皆様方も清々しい新年を迎えられたこと、お喜び申し上げます。院長としてより一層気持ちを引き締めて運営していく所存です。本年もよろしく願っています。

昨年2018年は国の第7次医療計画が開始され、茨城県においても各種精神疾患、精神科救急、合併症、周産期メンタルヘルス、災害精神医療体制、自殺対策等様々な事業について課題、推進方策、数値目標などが提示されました。本県のデータをみますと通院患者数は2012年以降毎年2000人程度の増加があり、直近2016年では36130人となっております。一方で入院患者数は2013年以降次第に減少スピードが増し、同年6268人が2016年に5898人です。また重要政策である新たな医療介護提供体制「精神障害にも対応した地域包括ケア」の構築を目指し、長期にわたる入院患者の地域生活処遇移行の目標が提案され、当県では現状4009人の1年以上入院患者を2020年度には3177人と計画されています。このような将来計画を見据えつつ当法



人も今後の変化に柔軟に対応していく必要があります。

当法人はこの地域において①精神科急性期医療、②認知症医療・介護、③療養病棟からの退院支援による法人施設等への地域処遇、④地域の方々のこころの健康増進、疾病予防という4つのケアシステムの充実を図りつつ運営しております。特に④については地域の関係団体、自治体、事業場からの会合等への参加依頼が多くなり、医療機関としてより力を入れて活動していく分野ととらえております。このため昨年当法人内に「こころの未来創造部」を開設計域の要望に応える準備をしております。さらには、今年当法人がかねてから計画しておりましたサテライトクリニックを水戸駅南口近くで開設を計画しております。

地域の自治体、医療機関、介護福祉機関、様々な関係機関、当事者の方、さらには地域住民の方におかれましては、当法人が現在約310名という多くの専門職種集団の力を合わせ、精神科医療機関として信頼されるより良い法人を目指して取り組んでいきたいと思っております。職員各々の日々の自己研鑽や地域の方々との連携・対話に努めつつ、これまで以上に柔軟な発想のもとさまざまなニーズに対応できる法人を目指し取り組んでいきます。ぜひ今後ともよろしく願ひ申し上げます。

（院長 安部 秀三）

創立51周年記念事業

有朋会は2018年に創立51周年を迎え、毎年恒例となる記念講演会、症例研究発表会が行われました。今年度は記念講演会を10/23（火）、症例研究発表会を11/16（金）に開催しました。

記念講演会 平成30年10月23日（火）

今年度は、医療法人社団KNI Kitahara Neurosurgical Institute（理事長の北原茂実先生にお越しいただき、「医療進化論」変化の向こうに幸せが見える」と題して講演いただきました。

北原先生は「世のため人のため、よりよい医療をより安く」、「日本の医療を輸出産業に育てる」の2つを経営理念に掲げ、より多くの人の「幸せ」のため「医療を変える」数々の斬新な取り組みに挑戦されています。

北原先生の先進的な理念やビジョンに触れ、多くの職員が感銘を受けました。有朋会でも「こころの未来を創造する」という中長期の経営計画ビジョンを掲げ、2017年よりその第一期がスタートしています。地域の皆さまにとって有朋会がより必要な存在となれるよう、北原先生のご講演に刺激を受け、糧として成長していきたいです。



症例研究発表会 平成30年11月16日（金）

症例研究発表会は医療・介護・福祉のサービス向上を目的とし、部署または個人単位で症例研究を行い、その成果を発表しています。

優秀な作品には優秀賞も贈られます。

講師として、茨城県立医療大学保健医療学部看護学科 糸嶺一郎先生にお越しいただきました。

糸嶺先生には各発表のご講評をいただき、優秀賞の選出もお願いしました。



研究発表題目

発表者	題目
井手 蒼	外来PSWの連携の評価と課題
高野 歩	高齢のうつ病患者に対する作業療法導入について（初期集中個別支援プログラムを導入して）
寺久保 佳那	地域の支援者が求める精神科デイケアの役割について
千田 寛之	クロザリル服用患者の不安と期待（看護師の関わり）
小池 陽	統合失調症心理教育後の経過にみる「こころの教室」の課題
大内 宏美	身体拘束に対する意識調査（身体拘束時間の短縮、スタッフへの意識付け）
池永 潤	通院・服薬をしながら働く経験のない中で休職に至ったうつ病患者の復職支援について
日比 恵	本人らしい退院に向けた看護の在り方（ストレングスマデルを活用して）
眞田 正樹	センター方式を利用し「気づき」を高め、利用者本位のケアをスタッフ皆で考える

（QCサークル）

臨床心理課	カウンセリングを行っている方からの問合せにおける困り感の低減
-------	--------------------------------

優秀賞

優秀な作品には講師糸嶺先生と当法人理事長より優秀賞が贈られます。

今回は、臨床心理課の小池陽さんが発表した『統合失調症心理教育後の経過にみる「こころの教室」の課題』が選ばれ、賞状と副賞が渡されました。



フォーカス

くりた人



作業療法課

作業療法士 高野 歩

当院で働く、現場職員の声をお伝えします。

所属部署での業務・役割を教えてください

私の所属する作業療法課では、各病棟で精神科作業療法を実施しており、私は急性期治療病棟であるサクラ病棟を担当しています。入院期間3ヶ月での退院を目指す病棟であり、回復の変化を見届け、そのプロセスに携わることができるということに嬉しさを感じています。同時に、急性期ということでも、重篤な症状により混乱されている患者様が多くいらつしやり、そのような中でのプログラム運営には難しさを感じる部分も多くあります。作業療法士間でミーティングを重ね、日々試行錯誤しながら行っています。また、心理教育プログラムである「こころの教室」にも関わらせていただいています。「こころの教室」は、患者様が病気についての理解を深め、病気と向き合えるようになることを目的としたプログラムです。医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、精神保健福祉士、作業療法士の6名で取り組んでいます。その中で私は、メンバーや日程の調整、参加者やご家族へのオリエンテーション等、パイプのような役割を担当しています。

患者様との関わり

入職したばかりの頃、「私は患者様の為に何ができるか」ということを考えていました。ですが、それでは私の考えを押し付け、指導的になってしまう、患者様と同じ立場に立てていないことに気付きました。

患者様と一緒に考えて、一緒に進んでいくのが作業療法士であり、様々な作業を用いて患者様と関わることが強みでもあります。作業を介することで、患者様は自然体で振舞ってくれたり、不安や悩み等、本音を語っていただけることもあります。そのような中で、様々な想いを共有できたらと思います。ですので、プログラムを進行する立場であるとはいえ、体操は誰よりも全力でやっています！将棋や麻雀は患者様から教えていただいて覚えしました。今は編み物を特訓中で、患者様から「そろそろ片付けの時間だよ」と声を掛けてもらうこともあります…。患者様と共に楽しみ、悩み、考えながら想いを共有し、共に解決策を模索していきたいと考えています。

どんな時やりがいを感じますか？

作業療法では、さまざまな活動を通して生活の質の向上を手助けし、自信や楽しい気持ちといった生きがいのようなものを、もう一度見出してもらおうお手伝いができます。例えば、「何もできない」と言っていた患者様が何かに夢中になれる作業を見つけた時は、とても嬉しいですね。できることが増えてくると、患者様も徐々に自信がつき、次のステップにも繋がっていきます。そういった場面に関われることに、作業療法士としてのやりがいを感じています。

他スタッフとの繋がり

当院では、専用のスペースで行う作業療法だけでなく、作業療法士が直接病棟に伺い、病室など患者様の生活の場で行う作業療法も展開しています。患者様の様子を常に1番近くで見ている看護師さんには、関わり方などを相談させていただくことがあります。一緒にプログラムを運営してくれることが当たり前になつていましたが、今回多職種との連携について改めて考え、その事が恵まれた環境であることを再確認することができました。病棟スタッフの皆さんには、本当に感謝しています。

栗田病院のチームワークの良さは、私がこの病院で働きたいと思った、1番の理由です。病院見学の際、

栗田ダイアリー

栗田病院が開催した行事やイベントを紹介します。

2018
9

9月8日(土) 求職者向け病院見学会
9月22日(土) 求職者向け病院見学会
9月29日(土) 一般の方向け健康セミナー(認知症予防)

2018
10

10月6日(土) 統合失調症家族交流会
10月10日(水) 認知症疾患医療センター連絡協議会
10月11日(木) 職員向け健康セミナー
10月13日(土) 求職者向け病院見学会
10月20日(土) 認知症疾患医療センターミニ研修会
芋煮会(地域交流会)

10月23日(火) 創立記念講演会
10月27日(土) 求職者向け病院見学会

2018
11

11月10日(土) 求職者向け病院見学会
11月16日(金) 創立記念式典・研究発表会
11月17日(土) 脳活性化デイケア体験会
11月24日(土) 求職者向け病院見学会

2018
12

12月8日(土) 求職者向け病院見学会
12月18日(火) 栗田病院忘年会 ★
12月22日(土) 一般の方向け健康セミナー(認知症予防)
求職者向け病院見学会

2018年12月18日(金)
栗田病院忘年会

当院では毎年、一年間の感謝の気持ちを込めて、職員を対象とした忘年会を開催しています。多くの職員が参加するイベントの一つで、一年のうち活躍された職員の表彰や景品抽選会などが行われます。今年はミニゲームも行われ、職員同士のコミュニケーションの醸成にも繋がっています。2019年に向けて職員がまた一つ団結する機会となっています。

2018年9月29日(土)
一般の方向け健康セミナー
(認知症予防・早期発見)

当院では、『健康で長生きすること』をテーマに、認知症予防や早期発見を目的とし一般の方を対象とした健康セミナーを開催しています。近年メディアでも広く取り上げられている認知症に関する様々な情報を、医師や管理栄養士、作業療法士などの専門スタッフが提供しています。不足しがちな栄養や運動に関する知識を毎日の生活に役立つポイント満載で分かりやすく説明しています。



今後の目標を教えてください

作業療法士として栗田病院に就職し、もうすぐ3年が経ちます。成長できたと感じられる部分もありますが、同時に患者様との関わりが増えるほど難しさを感じ、自分の未熟さを痛感しています。患者様の気持ちに寄り添うことを第一に、一緒にいて楽しい、ほっとする、と思ってもらえるような作業療法士になれるよう努力していきたいです。そんな作業療法士に近づく事が患者様の生活の何か一つでも良いきっかけに繋がってくれば嬉しいです。



作業療法士を目指したキッカケは？

これといって素敵なエピソードはないのですが、小さい頃からスポーツをやっており、怪我が多く、リハビリを受ける機会がありました。それが、作業療法に興味を持ったキッカケかもしれません。

大学で学ぶまで、リハビリテーションは身体領域のものであって、精神科領域にも存在するものとは知りませんでした。専門的な知識を見に付けるうちに、人のこころの奥深さのようなものに惹かれてきました。また、治療完了の明確な指標がない分野で、作業療法士としてのアプローチの可能性に魅力を感じました。

職種に関わらず名前呼び合い、挨拶を交わしている環境にチーム力の強さを感じました。もちろん今も、そこが栗田病院の魅力であると感じています。ベテランの大先輩であっても、経験や知識の浅い私の意見を大事にしてくれます。また、業務とは全く関係のない、面白い話を教えてくれることもあります。そのような何気ない日常の繋がりが、結果的に質の高いチーム医療の提供に繋がっていくのではないかと思います。

診療案内

外来担当医一覧表

	診察室	月	火	水	木	金	土
午 前	1 診	栗田	正田	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	安部	高橋	堤	木滝	堀	第3・5週 吉川
	3 診	堤	早坂	木滝	翠川	正田	高橋
	5 診					井出	翠川
午 後	1 診	栗田	田中	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	安部	高橋	木滝	木滝		第3週 鈴木
	3 診		早坂	竹下			
	5 診		佐藤				

初めての外来受診・入院を希望される方へ

1. 電話で患者様の情報や現在の状況をご相談下さい。

2. 次にケースワーカー（相談員）が詳しい話を伺い、その後ご予約をお取りします。

※現在他病院を受診している、もしくは受診していた場合は紹介状が必要になります。

※当日の状況により、予約内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

■＝内科

〈午前の部〉 〈午後の部〉
受付時間 8:30～11:30 / 11:31～16:00
診察時間 9:00～ / 13:30～

*精神科外来は完全予約制になります。
*当日のご予約は行っておりません。前日までにご予約をお願い致します。
予約電話対応時間 月～土（祝日を除く）9:00～17:00 TEL.029-298-0175

関連施設

地域生活支援事業部

障害福祉サービス事業所 自立訓練（生活訓練） ショートステイ

「くりの実」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505 TEL.029-295-1834 FAX.029-353-2223

障害福祉サービス事業所 グループホームくりの木

「第1くりの木」「第2くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7652

「第3くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7680 FAX.029-295-7681

「くりあん」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3429-2 TEL.029-231-2280 FAX.029-231-2281

就労継続支援B型事業所

KURITAワークサポートセンター

「Work-Work」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3923-5 TEL.029-231-7066 FAX.029-231-7067

認知症デイサービス

「クリクリ瓜連」 〒319-2103 茨城県那珂市中里1365-7 TEL.029-270-9550 FAX.029-270-9558

「クリクリ住吉」 〒310-0844 茨城県水戸市住吉町20-6 TEL.029-248-1001 FAX.029-248-0215

「クリクリ市毛」 〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛上坪1186-2 TEL.029-275-0262 FAX.029-275-0263

「クリクリ金上」 〒311-0022 茨城県ひたちなか市金上1031-1 TEL.029-271-1607 FAX.029-271-1608

小規模多機能型居宅介護施設・認知症グループホーム

小規模多機能ホーム「クリクリ」・認知症グループホーム「クリクリ」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰140-17 TEL.029-352-0016 FAX.029-298-7750

認知症グループホーム「クリクリ田彦」

〒312-0063 茨城県ひたちなか市田彦950-48 TEL.029-275-8701 FAX.029-275-8702

認知症疾患事業部

アクセスマップ

